12 長崎支部

先輩・後輩のつながり、そして同年代の絆も深い支部です。飯山支部長がしっかりまとめてくれています。あのタイ人が...（笑）。他の支部も色々良い所はあると思いますが、自分にとっては一番居心地がいい支部だと思っています。師匠は樋口亮選手です。養成所を卒業してから師匠は樋口さんしかいないと思って、自分からラブコールを送りました。（どうして?）そりぁもちろんレースが格好良いからに決まっているじゃないですか!たくさん練習にも付き合ってもらったし本当に尊敬しています。こんなふざけた僕でも師匠の前では真面目な自分が出るというか、背筋がピンッと伸びますね。

13 目指すレーサー像

僕の考え方として、ボートレーサーは客商売だと思っています。お客様あってのこの世界だと思っているので、多くの方にレーサー宮本夏樹を覚えてもらいたいです。舟券的に人気が無い時は良い意味で期待を裏切りたいと思っていますし、もちろん常に勝ちたいという気持ちはありますが、どんな勝ち方どんな負け方をしても自分にしか出せないレーサーとしての色を求めて行きたいですね。SGレベルの選手は凄いターンをするし皆尊敬しているけど、いつか自分もそこに辿り着いて同じステージで自分の色を輝かせたいと思っています。

14 今後について

これまで初出走・初1着・初優出などの節目はすべて地元大村でした。でも初優勝は戸田だったので何としても早い内に大村でも優勝したいですね。そしてとにかくA1に上がる事。この2つは近い目標としてやっていきたいですね。そしていつかはSGに出たいと思っています。特に一番好きなSGオールスターに出場したいです。ファンの皆様が好きな選手・見たい選手に投票して出場できるオールスターで活躍する事を大きな目標にしています!

ファンの皆様へメッセージ

地元でのレースは特に目の色を変えて常に優勝を狙っています。
これからも応援してもらえる選手になれるよう頑張ります！

（プライベートで僕を見かけたらチョコレート頂戴♡出没エリアは浜町アーケードやココウォークなど。出来ればミルクチョコで♡）

Fancy face Collection

宮本夏樹　変顔コレクション

I LOVE 長崎支部

アイ・ラブ

ボートレース大村
オリジナル情報誌
vol.7

ボートレース大村長崎支部所属の
レーサーを徹底分析!

4498 宮本 夏樹

Natsuki Miyamoto

1987年7月21日生まれ。
174㎝、51㎏、A型。2008年大村で初出走。
同シリーズ3走目で初1着を飾る。
今年7月、デビュー10年4か月目にして
待望の初優勝。
102期の主な同期は桑原悠・滝川真由子
山田康二・遠藤エミ・上野真之介・前田将太など。

大きなステージで
自分の色を
輝かせたい

01 好きな食べ物・苦手な食べ物

肉より魚派なので寿司が好きです。特に白身魚や貝類が好きですね。たくさん食べたいけど、すぐお腹いっぱいになります。あとチョコレートも大好きです!宿舎などでも欠かせませんね。苦手なものはあまり無いですが、食べず嫌いなものは“らっきょう”です。匂いとかは平気ですが、人が食べている時のあの独特の音が苦手でゾッとします。今後も食べるつもりはありません!

02 休日の過ごし方

完全にインドア派ですね。映画を観たり、テレビでクイズ番組を見たり、子どもと遊んだり、ほとんど家の中で過ごしています。昔はビリヤードやダーツをしていましたね。学生時代は剣道や水泳、トラック競技などもしていたのですが. . . 。でも最近、ヨガを始めたいと思っています。趣味レベルではなくて、体調管理にもなるし本格的にやってみたいですね。外に出る時は先輩や後輩と飲みに行く事が多いですね。石橋道友選手や榎幸司選手、大串重幸選手や真庭明志選手など多くの人と仲良くさせてもらっています。あ、あと、あのタイ人。いや違う、飯山晃三選手もです（汗）。

03 性格について

8割から9割はふざけた性格だと思っています（笑）。でもレースは常に真剣ですよ。他の選手からは、よくメンタルが強いと言われます。自分でも意識的に悪い事があっても引きずらないようにしていますね。でも実は弱い部分もあります。家では妻に何か言われてシュンってなる事ばかりです。完全に“かかあ天下”ですね（苦笑）。

04 宝物

宝物は時計と車です。数年前、F2になった時に先輩から自分を追い込むため、あえて高価な買い物をしてみてはどうかと勧められて思い切って買いました。いや～、でも本当に追い込まれましたよ。でも、そのおかげで頑張ってA級になる事ができました。

05 家族について

現在、妻と２才の男の子の３人家族です。妻は初めて出会った時キラキラ輝いていて、すぐ自分勝手に“この人と結婚するんだろうな”と思いましたね。妻は出会った時、そんな直感は全然なかったそうです. . . 。出会ってから口説き落とすまで6年もかかりました（笑）。
あ、それと、もちろん今もキラキラ輝いていますよ（汗）。
結婚してからは責任感を強く感じるようになりましたし、子どもが生まれてもその思いは一層強くなりました。
今、自分が頑張れるのは家族のおかげです。

埼玉支部関口智久選手と

06 ボートレーサーを目指したきっかけ

高校受験前に母が大きな病を抱えてどうしようか考えていた時に“しっかり稼いで家族を守るにはボートレーサーだ”と思い目指すようになりました。ただ母から進学して欲しいと言われ高校に行きました。高校での3年間はボートレーサーになる為の時間だと思い続けていましたね。その後、養成所への試験は2回目で合格しましたが訓練は大変でしたよ。特に精神面が辛くて、髪のもみあげの部分がストレスのせいか白髪になりました（笑）。
そして訓練中に左腕を怪我して訓練が遅れてしまい、101期での卒業予定が102期になりました。でも諦めず頑張ってレーサーになれたし、時間がかかった分たくさんの仲間が出来たし自分にとってプラスだったと思いますね。

07 デビュー当時

デビューの時は前検日に着ていくスーツを間違えたりもして、かなり緊張していたと思います。でも、やっと選手としてスタート出来るんだと期待感もありました。初出走も3走目で1着になったレースも今でも鮮明に覚えています。ボートレースの難しさを感じシリーズの間、楽しむような余裕はなかったけれどデビュー節が終わった後、明細書を見て“ニヤッ”としましたね（笑）。

08 好きなレース場・好きなコース

好きなレース場はやっぱり走り慣れている大村ですね。あと福岡も好きです。福岡は“うねり”を気にする選手が多いと思うけど自分はそんなに気にする事はないし昔から苦手意識が無い分、得意なのかなと思います。今年1月福岡で開催された3Daysバトルトーナメントでも安定した成績を残せたのも自信になりました。好きなコースについては、3コースと5コースが好きになってきました。以前、下條雄太郎選手に一緒にペアボートに乗ってもらって学ぶ事が多かったし、自分なりのアレンジも加えて最近は自分が思うような捲り差しが出来るようになってきました。

09 レーススタイル

自分は良くも悪くも気持ちで走るタイプだと思います。でも熱くなりすぎない様に一定の緊張感を持ってレースに臨んでいます。今より若かった時はスタートもイケイケっ感じでレースをしていたんですが、今はそこまで早いスタートを行かなくても冷静に周りを見てレース出来るようになってきたのかなと思います。展開を作るというよりも、展開を突くスナイパーですね（笑）。

10 現在までの道のり

良い10年でした。技術面での後悔とかはあるけど、総合的にみると楽しく過ごせたと思います。でも正直な所、10年経った気がしないですね。レーサーとしての土台は出来たと思うけど、もっともっと多くを学びたいという新人みたいな気持ちは今も変わらないです。ボートレーサーはもの凄くストレスを抱える仕事だけど“レースを楽しむ”という気持ちはこれからも持ち続けたいですね。

11 戸田での初優勝

戸田は相性というかモーターが出ない事が多いんですが、7月優勝した時は戸田にしては良い感触でレースが出来ていました。実は優勝戦の前にテレビを見たら占いで“あなたの作戦が上手く行く”と書いてあったので、もしかしてと思っていました。その優勝戦はトップで走っている間、周りの選手からは「冷静だったね」と言われましたが、自分はずっとドキドキでしたよ。でもゴールした後は涙も出なかったし意外と冷静に受け止める事が出来ました。そして何より周りの仲間が祝福してくれた事が嬉しかったですね。